

みらいをともに



ニュース

発行／県民クラブ みたらいともひろ

連絡所／大分市下郡字長谷496-38 TEL097-556-7757 FAX097-556-9288 携帯090-4350-2376 メールアドレスto4350mo@gmail.com

大分県議会 第3回定例会 一般質問に立ちました!!

皆様方からいただいた「声」をもとに、以下の内容を質問しました。当日は、多くの方に傍聴に来ていただきました。感謝申し上げます。

【質問項目】9月26日(火)一般質問

- 1 DXの推進について
 - 2 教員を取り巻く現状について
 - 3 インクルーシブ教育について
 - 4 大分市東部地域の道路整備について
 - 5 福島第一原発ALPS処理水の海洋放出について
- 皆様の生活の向上につながることを願いながら質問しました。2・3面に要旨を掲載しています。詳細は動画や議事録でご確認ください。



【議長席前の演壇で質問。左右には佐藤知事をはじめ執行部が着席】

「DX(デジタルトランスフォーメーション)」を身近なものに!

地域の方々から、高齢者の交通手段や通勤時間帯の交通渋滞等の課題を伺ううちに、県の施策の一つである「DXの推進」が解決の鍵だと考えました。デジタルはアナログの反対ですから、人がやっていたことをコンピュータでできるようにすることです。

例えば、DXが進むと地域の方の生活の困りがリアルタイムに「見える化」され、必要なサービスを受けることが可能になります。また、大分県DX推進戦略の「次世代モビリティ」が進めば、地域交通の手段として、自動走行と組み合わせた無人のコミュニティバスの運行なども可能になるのです。

大分県にはDX推進課が設置されており、様々な事業を

行っています(今年度事業費予算は2億8141万円)。その内容等は『大分県DX推進戦略 DXでもっと笑顔あふれる未来を創る』で詳しく紹介されています。例えば、「暮らしのDX」として、次のような説明があります。

<https://www.pref.oita.jp/soshiki/14280/oita-dx.html>



DX(デジタルトランスフォーメーション)って?

デジタル技術とデータを活用して、人々の生活をより良い方向に変化させることです。



暮らしを支えるDX-交通

過疎地域においても、移動を通じて社会活動・経済活動に参画することができる。[次世代モビリティ, MaaS]

データ連携により、利用者にとって大分空港からの県内各地への多様な移動手段が「見える化」されるとともに、目的地に応じた店舗やイベント情報などを受けとることができる。[MaaS]

小規模集落や離島でも、ドローンによる物資輸送サービスのおかげで不便なく暮らし続けることができる。

スマホの普及やコロナ禍で日常に関わる様々な場面で急速にデジタル化が進む中、福祉、医療、教育、防災など、あらゆる分野で、全ての県民の暮らしの質の向上が図られ、安全・安心に暮らせ、ありがたい自分を実現できる大分県づくりを目指します。

「県民の暮らしの質の向上」「安全・安心」「ありがたい自分を実現」…、どれも大切なことで、実現すれば、地域の方々の生活も大きく変わるといえるでしょう。しかし、まだまだDXという言葉すら聞き慣れないのが実情で、2億円以上の予算で事業化されているこの大分県の施策を前進させていく必要があります。

佐藤知事は、答弁で「『だれ一人取り残さない』デジタル社会の実現を目指す」と明言しました。これからも、地域の方々の「声」を県政に反映させていくよう努めて参ります。